



PHOTO: Julija Jablonska

## クシシュトフ・ヤブウォンスキ (ピアノ) Krzysztof Jablonski, Piano

1965年ポーランドのヴロツワフ生まれ。6歳から12歳までヤニーナ・ブートル女史の下で研鑽を積み、以降ニキタ・マガロフに、1983年からポーランドのカトヴィツェ音楽院でアンジェイ・ヤシンスキ教授に学ぶ。1987年、最優秀成績で同音楽院を卒業、1996年には博士号を取得する。

1985年ショパン国際ピアノコンクールで入賞し、ポーランド出身のショパン弾きとして大いに注目される。その後、ミラノ、パルマ・ビーチ、ダブリン、ニューヨーク、カルガリーでの国際ピアノコンクールでも優勝。ルービンシュタイン・コンクールでは金メダルを獲得した。

30年にわたりヨーロッパ、アメリカ、アジアなど、世界各地でソリストとして幅広く活躍している。ベルリン・フィルハーモニーでのマスター・コンサート・シリーズにも出演した。また、ゲルギエフ、ボレイコ、ペンデレツキ、セミコフ、ヴィットなど、数多くの著名な指揮者とも共演している。近年は、室内楽の分野でも国際的に活躍し、極めて高い評価を得ている。

ロマン派の演奏には定評があり、特にショパンについては30年を超える研究を経てその演奏は絶賛を博している。他方で、F.リースやH.リトルフ、E.ドホナーニ等の作曲家の協奏曲も演奏するなど、精力的に幅広いレパートリーに取り組んでいる。

2013年2月には、ヘルシンキで行われた“バルチック海美化基金コンサート”のオープニングに招かれ、ゲルギエフ指揮ヘルシンキ交響楽団とチャイコフスキーのピアノ協奏曲を演奏した。

日本では、霧島国際音楽祭へ度々参加するほか、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団などと共演している。2015年はヤブウォンスキの演奏活動30周年に当たり、下野竜也指揮読売日本交響楽団とショパン：ピアノ協奏曲第1番を演奏し、絶賛を博した。

近年は後進の指導にも力を入れており、ワルシャワ音楽院で教授を務めるとともに、カルガリーにあるマウント・ロイヤル大学の客員芸術監督も務めている。2005年には第15回ショパン国際ピアノコンクールの審査員に選出された。その指導は、音楽に対する敬虔で真摯な厳しさの中にも、人間的な暖かさ・誠実さが常に感じられ、教育者としての活動の場をも広げている。

スタニスラフ・ブーニン、小山実稚恵  
ジャン＝マルク・ルイサダ…  
現代を代表するピアニスト達はその名を  
知らしめた1985年ショパン国際ピアノコン  
クールで第3位を受賞したヤブウォンスキ

あれから31年、ショパン作品を  
演奏する機会が多い氏の貴重な  
オール“ノン”ショパン・プログラム

“膨大な時間をかけて研究した”と  
本人が話す「夜のガスパール」

ホロヴィッツ編曲版に  
ヤブウォンスキが手を加えた特別な  
「展覧会の絵」

恵まれた体格から紡ぎ出される完璧な  
テクニックは正に圧巻  
クリスチャン・ツィメルマン以降  
ポーランド最高のピアニストと  
評されるヤブウォンスキの  
超貴重な名古屋公演です

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00  
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)